

# 若年性認知症の人のための 診断後の空白期間の充実に向けて



認知症の診断技術は向上し、早期に診断を受ける人が増えています。しかし、診断を受けた後にすぐに介護保険を利用する状態でもありません。この期間を診断前後の空白期間と言います。診断は受けたものの・・・いったい何をすれば認知症は進行しないのか？どう暮らせばよいのか？など、若年性認知症の当事者である 藤田和子さんのお話、海外の取り組みから、この空白期間の支援のあり方について考えます。

講師：

若年性認知症問題にとりくむ会「クローバー」

副理事長 藤田和子氏

NPO 法人認知症の人とみんなのサポートセンター

代表 沖田 裕子

内容：

1. 当事者の声から

診断を受けるまで、そして診断を受けた後

2. 諸外国の例から考える

3. プログラムについて考える

本人の望む早期ケアは、**介護だけではありません。**

今暮らしている地域の中で、私の抱えている不安を、**今まで一緒に過ごした友人たちの中で、相談できたり話できる、そういう状況がほしいです。**



藤田さんの声

藤田和子さん プロフィール

1961年、鳥取市生まれ。看護学校卒業後、看護師として市内の総合病院に9年間勤務。認知症の義母の介護を9年間行った後、市内の個人病院に復職し8年間勤める。

2007年6月、若年性アルツハイマー病と診断され、その後退職。

2010年11月、若年性認知症にとりくむ会「クローバー」を設立し代表になる。

2014年10月認知症ワーキンググループを仲間と立ち上げる。

2015年1月安部首相と面談。認知症施策の中に当事者の声をより反映させることとなる。

日程：2015年7月26日（日）13:30～16:45（13:15より受付）

参加費：3,000円 学生1,000円 認知症のご本人 無料 定員80名 先着順

場所：大阪市社会福祉研修・情報センター（大阪市西成区出城）

裏面の申込書を郵送又は、FAXで送ってください。参加証をお送りします。

\*認知症ケア専門士（日本認知症ケア学会）2単位が取得予定です。（申請中）

\*当会の賛助会員は、年間3,000円まで研修が無料です。

主催：特定非営利活動法人 認知症の人とみんなのサポートセンター  
後援予定：日本認知症ケア学会

\*この事業は、大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を受けて実施しています。

# 若年性認知症の人のための診断後の空白期間の充実に向けて（締切7月15日）

## 申込書

FAX : 06-6972-6492

ふりがな 氏名		
職業など	認知症の本人・介護家族・地域包括支援センター職員・介護福祉関係事業所職員 障害者関係事業所職員・病院職員・行政職員 その他( )	
所属名(勤務先)		
連絡先	自宅 ・ 所属先	
連絡先住所	〒	
電話番号	TEL	FAX
認知症ケア専門士	専門士番号	

### 【注意事項】

※研修中の録音、録画等は一切禁止です。

※個人情報保護法に基づき、この申込み書は受講登録に使用するものであり、他の目的に使用することは一切ありません。

※受講者には、受講票を郵送させていただきます。1週間前に届かない場合はご連絡ください。

### ＜研修会場案内＞

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

大阪市社会福祉研修・情報センター

### ＜アクセス＞

※JR 大阪環状線・大和路線

「今宮」駅より徒歩約10分

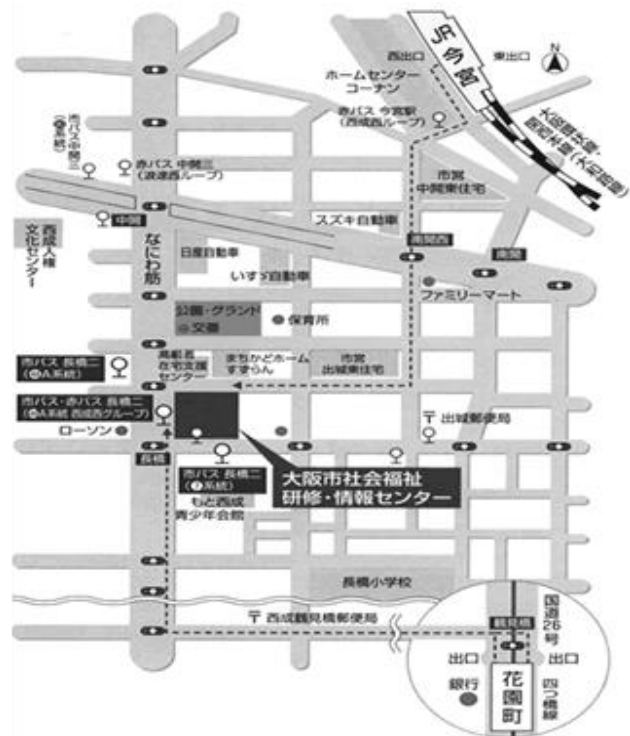
※市営地下鉄・四つ橋線

「花園町」駅（2号出口）より徒歩約15分

※市バス

「長橋二丁目」バス停すぐ

52系統 なんば～あべの橋



【連絡先】 特定非営利活動法人 認知症の人とみんなのサポートセンター

〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-18-33

TEL 06-6972-6490 FAX 06-6972-6492

ホームページ : <http://minnanospc.grupo.jp/>